



### 1 試合前の時間を楽しもう

スタジアムの外では、子ども向け遊具やキックターゲット、ステージイベントなどがあります。スタジアムグルメやグッズ販売もしています。



### 2 試合中は応援で選手を後押し

皆さんの応援が選手の力になります！声出し応援エリアでは応援歌で、それ以外の席では拍手で応援しましょう。  
※感染症の状況により全席拍手のみの応援となる場合あり



### 3 試合後はプラネタスワンで祝い

勝利の後は選手と一緒に万歳をして、ペンライトの光で祝います。みんなで喜びを分かち合しましょう。

### 座席選びのポイント

初心者やじっくり観戦したい人は、競技場全体を見渡せるメインスタンドやバックスタンドがおすすめ。サポーター同士の一体感を楽しみたい人は、ゴール裏のNスタンドで思いっきり応援しましょう！



#### アルビの歴史

- 昭和30年 ● 「新潟イレブンサッカークラブ」として創部
- 平成 6年 ● チーム名を「アルビレオ新潟FC」と改名
- 8年 ● プロサッカーチームとして活動開始
- 9年 ● チーム名を「アルビレックス新潟」と改名
- 11年 ● J2リーグへ参加
- 15年 ● J2初優勝、J1昇格
- 年間観客動員数の新記録を達成(667,477人)
- 29年 ● J1リーグで17位となりJ2降格
- 令和 4年 ● J2で2回目の優勝、J1昇格

### サポーターインタビュー

#### 家族でアルビー色の毎日

4歳の時から両親に連れられて家族でアルビの試合を見ていたので、物心が付いた時にはサポーターになっていました。シーズン中の家での話題はアルビが中心です。

スタジアムでの観戦の魅力は、一体感と盛り上がり。ゴールが決まった時は立ち上がってみんなで喜びます。人それぞれのサッカーの楽しみ方がありますが、私はスタジアムグルメを堪能しながら観戦するのが好きです。

昨シーズンの優勝と昇格はとてもうれしかったし、感動しました。J1でも新潟旋風を巻き起こしてほしいです。私もサポーターとして応援を頑張ろうと思います。

アルビ、最高！超最高！



アルビレックス新潟サポーター  
渡邊 真季 さん  
(中央区在住)

### ボランティアインタビュー

#### 選手と観客の笑顔のために

私たちは、主にアルビのホーム戦でどの選手がどこで得点に絡んだかなどの公式記録を取ったり、本部でチケットの整理をしたりするボランティア活動をしています。

昨シーズンは記録を取っていく中で「絶対J1に昇格できる」と思っていたので、昇格が決まった時は、うれしさとほっとした気持ちで満たされました。また、優勝が決まった試合で選手とお客さんの笑顔を見た時は、本当にうれしかったです。

これからもアルビを支え、次はJ1優勝の瞬間を見られたらいいなと思います。

選手たちの今後の活躍に期待しています！



アルビレックス新潟ボランティア  
佐藤 享子 さん=写真左=  
三ヶ月 綾 さん=写真右=

### ジュニア選手インタビュー

#### いつか大観衆の前でプレーしたい

幼稚園でアルビのコーチからサッカーを教わってもらったのがきっかけで、6歳でスクールに入りました。サッカーはみんなでゴールを目指すところが楽しくて、シュートが入るとすごく気持ちいいです。

高い技術で相手をどんどん抜いていく三戸舜介選手が憧れです。昨シーズンの最終戦をスタジアムで見て、僕もいつか大観衆の前でプレーしたいと思いました。そのために、自分の特徴であるスピードを生かしながら、技術と判断力を身に付けていきたいです。将来はサッカー選手と医師になりたいので、サッカーも勉強も頑張りたいと思います。



アルビレックス新潟U-12  
栗原 春太 選手

「昨シーズンのJ2優勝とJ1昇格について、率直な気持ちをお聞かせください。」

「僕がアルビに移籍した年にJ2に降格してしまっただけで、J1に戻りたいという思いが強くありました。5年かかりました。1つの目標を達成できて、すごくうれしい気持ちでいっぱいなんです。毎年、シーズンの初めにサポーターに「J1昇格」を宣言していたのですが、その約束をなかなか果たせず申し訳なさを感じていたので、ほっとした気持ちもありますね。」

「昨シーズンのアルビは、どの選手が出場しても質の高いプレーをしていましたね。」

「選手それぞれのサッカーに向き合う姿勢が、以前とは違っていたと思います。仲間だけじゃ

「チームの雰囲気も教えてください。」

「サッカードライベイトのめりはりを大切にしています。元々すごく仲の良いチームで、新型コロナウイルス禍前はよく家族ぐるみで食事やバーベキューなどをしていました。ピッチ内ではけんかするくらい激しくプレーし、それを外に持ち出さず解決

「チームの雰囲気も教えてください。」

「サッカードライベイトのめりはりを大切にしています。元々すごく仲の良いチームで、新型コロナウイルス禍前はよく家族ぐるみで食事やバーベキューなどをしていました。ピッチ内ではけんかするくらい激しくプレーし、それを外に持ち出さず解決

「市報にいがたを読んでいる皆さんに向けてメッセージをお願いします。」

「僕たちアルビを応援してくださり、ありがとうございます。たくさんの方が試合を見に来てくれることが、僕たちの一番の力になります。皆さんに勇気と感動を届けるために毎試合気持ちは込めて戦っていますので、まだサッカーの試合を見たことのない人も、ぜひ一度ビッグスワンに来てください。」



長女の結珠ちゃんと愛犬のフィル君。チームの仲間や家族と過ごす時間がリフレッシュになるといいます。堀米選手にとって、家族との散歩の時間は息抜きのひとつです。



インタビュー  
アルビレックス新潟  
堀米 悠斗 選手

## J2優勝とJ1昇格、その先へ

「プロファイル」

平成6年9月9日北海道札幌市生まれ。兄の影響で3歳からサッカーを始め、小・中学・高校生の時には地元チーム・コンサドーレ札幌の育成組織に所属し、高校卒業後にプロサッカー選手へ。平成29年、アルビレックス新潟に加入。令和2年から3年間キャプテンを務める。ポジションはDF(ディフェンダー)で背番号は31。選手やサポーターから「ゴメス」と呼ばれ親しまれている。

「プロファイル」

平成6年9月9日北海道札幌市生まれ。兄の影響で3歳からサッカーを始め、小・中学・高校生の時には地元チーム・コンサドーレ札幌の育成組織に所属し、高校卒業後にプロサッカー選手へ。平成29年、アルビレックス新潟に加入。令和2年から3年間キャプテンを務める。ポジションはDF(ディフェンダー)で背番号は31。選手やサポーターから「ゴメス」と呼ばれ親しまれている。

「市報にいがたを読んでいる皆さんに向けてメッセージをお願いします。」

「僕たちアルビを応援してくださり、ありがとうございます。たくさんの方が試合を見に来てくれることが、僕たちの一番の力になります。皆さんに勇気と感動を届けるために毎試合気持ちは込めて戦っていますので、まだサッカーの試合を見たことのない人も、ぜひ一度ビッグスワンに来てください。」

### 子どもたちにスポーツの魅力を

#### 新潟市×アルビレックス

新潟市はアルビレックス新潟をはじめとするプロスポーツチームと共に、市内の子どもたちにスポーツの魅力を伝える取り組みをしています。

- サッカー、バスケットボール、野球の試合観戦に小・中学生の親子を無料招待
- 市内8区で小学生サッカー教室を開催
- 中学校の部活動や地域の中学生クラブチームに指導者を派遣



▲中央区小学生サッカー教室の様子

### アルビの豆知識

チームカラーのオレンジは、「新潟の美しい夕日」をイメージしています。

クラブマスコット「アルビくん」と「スワンちゃん」には、三つ子の子ども「アーくん」「ルーちゃん」「ビィくん」がいます。

